GIFU SHOTOKU GAKUEN UNIV. PRESENTS

聖徳学園杯学童野球大会要項　（通称：聖徳カップ）

【大会概要】

岐阜市内及び近隣の野球少年たちが日頃の鍛錬の成果を発揮する大会
小学生たちに野球が出来る喜びを感じる試合を開催し、多くの野球少年、少女の思い出に残る大会となってほしい。

【大会名】
　第６回聖徳学園杯学童野球大会　（通称：聖徳カップ）
【主　催】
　学校法人　聖徳学園
【大会会長】
　杉山　元彦（学校法人聖徳学園理事長）
【運営委員長】
　近藤　真市（岐阜聖徳学園大学硬式野球部監督）
　棚橋　祐司（岐阜聖徳学園高校硬式野球部監督）
【大会役員】
　竹本　康史（岐阜聖徳学園大学硬式野球部部長）
　田中　龍次（岐阜聖徳学園高校副校長）
　林　　範和（岐阜聖徳学園高校硬式野球部部長）
【発起人】
　小山貴本（岐阜聖徳学園大学硬式野球部前監督）
【運　営】
　岐阜聖徳学園大学硬式野球部、岐阜聖徳学園高校硬式野球部
【協力チーム】
　柳津野球スポーツ少年団

【参加資格】
　小学校６年生以下（６年生を必ず含む）で構成される学童軟式野球チームでスポーツ保険に加入していること。
【試合形式】
　トーナメント形式。勝ち上がりで優勝チームを決める。敗者による試合あり。
【試合ルール】
　７イニング制（先後ジャンケン決め）
【組み合わせ】
　主催者で代行抽選

【大会日程】

令和８年１２月　５日（土）／１２月　６日（日）

予備日：１２月１２日（土）　※日程が消化出来ない場合は打ち切り

【会　　場】

聖徳学園野球場／岐阜聖徳学園高校グラウンド

【審 判 員】：岐阜聖徳学園大学及び岐阜聖徳学園高校硬式野球部員

【使 用 球】：マルエスボールＪ号

【募集チーム数】：１０チーム　公募をし、抽選にて決定する。

【募集期間】11 月 4 日(水)～11 月１９日(木)

【募集方法】

メールでの応募

アドレス　shotokuhai@gifu.shotoku.ac.jp

【申込時に必要な情報】

① チーム名
② 代表者名
③ 電話番号
④ メールアドレス
⑤ チーム構成（例：6 年生 10 名、5 年生 5 名）

※抽選結果は応募全チームにお知らせ致します。

【開会式】

１２月　５日（土）

団旗とプラカードを持ち入場行進

現地で岐阜聖徳学園大学のウインドアンサンブル生演奏

【入場行進】

各チーム団旗、プラカードを持ちライト側から入場

ライト　→　ホームベース　→　三塁ベース方向　→　二塁ベース方向　→

ボールの前整列　→　全チーム揃ってから一斉に前進　→　マウンド付近で整列

【選手宣誓】

出場チームから代行抽選で選出。

【閉会式】

全日程終了後に行う　※打ち切りの場合はなし

【表彰】

優勝チーム	賞品贈呈（軟式ボール３ダース）、優勝楯、賞状
準優勝チーム	賞品贈呈（軟式ボール２ダース）、準優勝楯、賞状
参加チーム	賞品贈呈（軟式ボール１ダース）

第６回聖徳学園杯学童野球大会　（通称：聖徳カップ）
～絶対に怒ってはいけない学童野球大会～

＜大会規則＞

1.参加資格

・小学6年生以下で構成する軟式野球チームであれば、連盟所属または非所属に関係なくご参加いただけます。 ※スポーツ安全保険に加入していることが参加条件
・大会規則にのっとり、マナーを遵守したフェアプレーができることとします。
・YouTube によるライブ配信を容認すること。

2.グラウンドマナー

・監督・コーチは選手を絶対に怒ってはいけません。どんどん褒めてください。怒ったと判断した場合は本部役員より注意させていただきます。
・相手チームの選手が良いプレーをした時も称賛の拍手や声援を送りましょう。
・相手チームの選手、審判員へのヤジを禁止とします。
・監督・コーチは椅子に座り足を組み指示を出すことを禁止とします。（着席は可）
・役員、審判員の指示に従う事。従わないチームは失格とします。
・会場施設を破損した場合、修繕にかかる費用は当事者の負担とします。
・その他大会規約に違反した行為が発覚した場合は、審判員及び事務局の判断で失格とする場合もあります。

3.その他

・大会中に発生した事故・傷害・トラブル・野球道具の損傷に関して、主催者は一切責任を負いません。※各チームで、傷害保険等の加入をお勧め致します。
・主催者からの諸連絡は、代表者に電話またはメールにて行います。
・大会の運営に関して、当規則に明記されていない事項を決定しなければならない場合は、その決定は主催者が行います。

試合規定・ルール等

1.イニングについて

90分7回制とします。悪天候、日没により試合続行が不可能となった場合は、4回終了をもって試合成立とします。

2. 球数制限

投手の肘、肩の障害防止を考慮し、1日70球以内。70球に達する打者で最後の打者とする。
①試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
②投球数の管理は大会本部で行う。投球数カウンターは大会本部で行います。

3. 同点の場合

90分終了もしくは7回終了時点で同点の場合、1イニングのみ特別ルールを実施。

4. 特別ルール

※タイブレーク方式一死満塁、継続打者（走者は打者の前3走者とする）。1イニングのみ行う。
特別ルールでも決着がつかない場合は、出場している選手9名によるジャンケンで勝敗を決める。
※バントを禁止する。

5. コールドゲーム

4回終了後10点差でコールドゲームとする。但し、コールドゲームの適用の判断は本部と各チーム監督間で都度協議し、時間一杯試合する事も可とする。

6. ベンチ入り人員

ベンチ入り人員に関して規定は設けませんので、監督、コーチ、選手、チーム関係者、保護者、多くの方がベンチにお入りください。 監督はこの大会を通じてベンチ入り選手全員を必ず起用すること。

7. 審判について

審判員は4人制で、主催者で手配いたします。

8. 用具

・試合球はマルエスＪ号を使用します。
・打者は、必ずヘルメットを着用してください。
・金属バットは、市販されている規定品であることとします。
・捕手は、マスク・レガース・プロテクターを着用してください。

９．雨天時等の大会運営について

・試合の開催・中止は、当日のグラウンドにて決定します。
・大会の延期、変更が生じた場合は、主催者側からご連絡をいたします。
（チーム代表者にメールまたはTELにて対応いたします。）

１０．アナウンス

・主催者で行います。

その他

・試合開始時刻に選手が９名揃わなかったチームは、不戦敗となります。
・試合開始前に各チーム選手代表１名と監督が本部にてメンバー表の交換を行い、選手代表同士でジャン　ケンにて先攻後攻を決める。
・各チームはメンバー表３部（本部用、相手チーム用、アナウンス用）を提出してください。
・各チームその日の初戦のみ、試合前のシートノックを行う。制限時間は5分間。
・グラウンド整備等基本的には、大会役員で行いますが、ベンチの後片付けや、ファウルボール拾いは、両チーム協力のもと行ってください。
・大会参加中に発生する事故・けが等に関しましては、各チームで加入していただいている保険にてご対応ください。事故、けが、その他トラブルに関して、事務局は一切責任を負いません。・試合と試合の間隔が短く、タイトなスケジュールになっています。迅速な移動にご協力をお願いします。
・集合写真を撮影しますので、開会式前に各チームご協力お願いします。
・写真撮影に関しては特に規制はありません。開閉会式中、試合中もグラウンド内での撮影可能ですが、進行に支障のないようにご配慮をお願いします。

第６回目の開催となりますが、至らぬ点があるかと存じます。少年少女達、そのご家族、チームの皆様が存分に楽しんでいただけるように、全力で運営して参りますのでどうぞよろしくお願いします。